

2026

9.19 SAT (土) - 11.15 SUN (日)

前期：9.19(土) — 10.18(日) 後期：10.20(火) — 11.15(日)



齊宮歷史博物館
Saiyu Historical Museum

主 催 京都市立博物館
助 成 公益財団法人岡田文化財団
後援 朝日新聞社、中日新聞社、日本経済新聞社、三井物産、毎日新聞社、夕刊三笠新聞社、読売新聞社、NHK放送局、中京テレビ放送株式会社、CBCテレビ、東海テレビ放送株式会社、山梨テレビ放送株式会社、メーテレ、三重よみうり放送株式会社、近畿日本放送株式会社

之研究 6；〈漢代中國與西域關係〉（部分）（《漢學研究資料叢書》）（《新亞學刊論壇》、臺灣文化財、漢語博物館、楊、鄭）；《東漢西域傳記含漢書四傳》（《漢學心一國際漢學、中國、臺灣學術研討會》）（部分）（《京都學藝大學圖書館》、《漢學研究》、下冊；漢語博物館、鄭）；《新亞學刊論壇》（《新亞學刊論壇》）

いと世はなれ神さびたり—— 京にいたもうひとりの斎王

天皇の代理として伊勢神宮におもむき、天皇と国家の安寧を祈った斎王。賀茂斎院は、この伊勢神宮の斎王（伊勢斎宮）になって、平安時代、王城鎮護の神とされた賀茂神社に遣わされた斎王です。

選子内親王は、円融天皇から後一条天皇までの天皇5代57年にわたって賀茂斎院を務めたことから、後世「大斎院」と称されました。選子の斎院御所は、歌人や貴族たちが出入りする風雅な社交場の一つとして、清少納言が仕えた一条天皇皇后の定子、紫式部が仕えた中宮彰子らが展開した後宮のサロンに匹敵する、華やかな宮廷文化が花開いた場でもありました。

本展示では、「大斎院」選子に注目し、選子の生きた時代の様相や賀茂斎院が登場する「源氏物語」の美術作品、現代に継承されてきた賀茂祭（葵祭）を通して、多様な賀茂斎院の世界を紹介します。

【主な展示資料】

本朝月令、村上天皇御即位部類記、大斎院御集（以上宮内庁書陵部蔵）、高松官家伝来禁裏本 日本紀略（国立歴史民俗博物館蔵）、白描枕草子絵巻「松岡映丘横写」（逸翁美術館蔵）、年中行事絵巻 賀茂祭（京都市立芸術大学芸術資料館蔵）、葵祭の志おり（京都府立京都学・歴史館蔵）

会期中、一部の資料の展示替えを行います。

天徳内裏歌合想定図（京都文化博物館蔵）

重要文化財 大斎院前の御集（日本大学図書館蔵）

源氏歌合絵巻（国文学研究資料館蔵）[前期展示]

源氏物語車争図屏風（京都市歴史資料館蔵）[前期展示]

記念講演会「大斎院選子内親王のサロンと文学」

講師：東 望歩 さん（金城学院大学文学部 日本語日文化学科 教授）

日時：10月31日（土） 13時30分から15時30分まで

会場：斎宮歴史博物館 講堂

定員：120名／参加費：無料

参加方法：往復はがき、「三重県電子申請・届出システム」によるインターネット申込

募集期間：9月16日（水）から10月7日（水）まで

※締切日必着



▲お申込みはこちらから

学芸員による展示解説会

日時：9月19日（土）、11月7日（土） 13時30分から1時間程度

会場：斎宮歴史博物館 特別展示室

参加方法：事前申込不要 *当日の特別展観覧券または共通観覧券が必要です

同時開催 オータムキャンペーン

家族みんなで楽しめるイベントがたくさん！
詳細は博物館ホームページへ



日本遺産 祈る皇女斎王のみやこ 斎宮
斎宮歴史博物館
Saiku Historical Museum

〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川 503
TEL: 0596-52-3800 FAX: 0596-52-3724
E-mail: saiku@pref.mie.lg.jp
https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/saiku/



ワークショップ オリジナル洲浜台を作ろう！

洲浜台は、歌合や宴のために作られたミニチュアです。
平安貴族の文化を体験してみよう！

日時：9月21日（月・祝）、

11月3日（火・祝）

①10時から11時15分まで

②13時30分から14時45分まで

会場：斎宮歴史博物館 休憩コーナー

参加方法：当日受付（当日9時30分より受付）

参加整理券を配布します。各回先着15名

※参加には、当日の共通観覧券が必要です



洲浜台
（伊勢物語図屏風「離魂」）
※展示資料ではありません

